

概要説明書

[illegible]

概要説明書(その2)

技術名称	SRC路盤材	※登録No.	18D1010
新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)			
建設無機汚泥(セメント系)のリサイクルと用途拡大。また、SRC路盤材は強い強度を有しています。			
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？)			
○「汚泥」が「SRC路盤材」になる 改良土を埋立・盛土材として使用するだけでなく、造粒固化することにより路盤材として使用できます。			
○現場で「SRC路盤材」を製造する 造粒固化機は移動式なので、建設汚泥発生現場で造粒し、再度、その場で利用できます。			
②期待される効果は？(新技術活用のメリットは？)			
・再資源化の進まない汚泥の問題を解決するため、造粒固化機を用いて下層路盤材等に再資源化します。			
適用条件			
①自然条件 特にありません			
②現場条件 工事現場等に造粒固化機を運んだ場合は、屋根を取り付けてください。			
③技術提供可能地域 新潟県全域			
④関係法令等 道路構造令【車道と側帯の舗装構造の基準に関する省令(国土交通省)、舗装の構造に関する技術基準】			
適用範囲			
①適用可能な範囲 一般的な道路碎石に使用される場所(道路、駐車場等の路盤)。			
②特に効果の高い適用範囲 SRC路盤材は道路の下層路盤材に適しています。			
③適用できない範囲 道路の上層路盤			
④適用にあたり、関係する基準及びその引用元 環境基本法環境基準、水質汚染防止法、土壌汚染防止法、舗装再生便覧、 建設汚泥リサイクル製品評価のための自主基準(社団法人全国産業廃棄物連合会)			
留意事項			
①設計時 建設汚泥(セメント系)は、含水比により配合割合の調整が必要です。			
②施工時 特にありません			
③維持管理時 本技術の製品の溶出水は初めアルカリ性(pH12程度)を示しますが、1ヶ月程度で環境基準値のpH8.5以下になりました。通常の使用では溶出水が周辺に影響を与えることはほとんどありません。			
④その他 特にありません			

概要説明書(その3)

技術名称	SRC路盤材			※登録No.	18D1010																	
活用の効果																						
比較する従来技術	再生砕石(RC-40)																					
項目	活用の効果				比較の根拠																	
経済性	☐ 向上 (%)	☐ 同程度	☒ 低下 (150 %)																			
工 程	☐ 短縮 (%)	☐ 同程度	☒ 増加 (500 %)																			
品 質	☒ 向上	☐ 同程度	☐ 低下	粒度分布の安定																		
安全性	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																			
施工性	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																			
周辺環境への影響	☒ 向上	☐ 同程度	☐ 低下	建設汚泥の有効利用																		
活用の効果の根拠																						
<table><tr><td>基準数量</td><td>1</td><td>単位</td><td>m³</td></tr><tr><td></td><td>新技術(A)</td><td>従来技術(B)</td><td>変化値A/B(%)</td></tr><tr><td>経済性</td><td>6,000 円</td><td>2,400 円</td><td>250%</td></tr><tr><td>工 程</td><td>18 分</td><td>3 分</td><td>600%</td></tr></table> *備考: 汚泥処理費 17,000円/m³ 製造費 6,000円/m³ 17,000－6,000＝11,000円/m³のコストダウンになる。							基準数量	1	単位	m ³		新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)	経済性	6,000 円	2,400 円	250%	工 程	18 分	3 分	600%
基準数量	1	単位	m ³																			
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)																			
経済性	6,000 円	2,400 円	250%																			
工 程	18 分	3 分	600%																			
●新技術の内訳																						
基準数量: 1m ³ あたり																						
項 目	仕 様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘 要																
SRC路盤材	粒径40～0mm	1	m ³	6,000	6,000	施工費含む																
●従来技術の内訳																						
基準数量: 1m ³ あたり																						
項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘 要																
RC-40	粒径40～0mm	1	m ³	2,400	2,400	施工費含む																

概要説明書(その4)

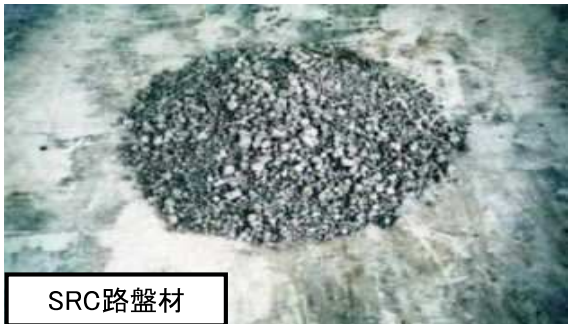
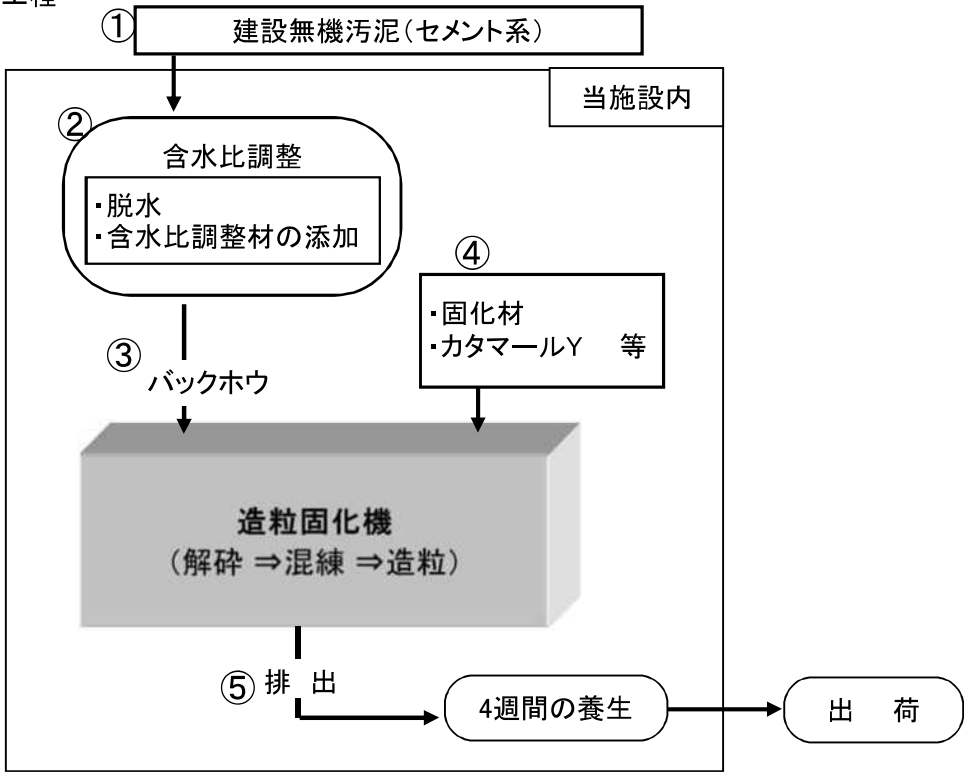
技術名称	SRC路盤材		※登録No.	18D1010								
施工単価	☐ 歩掛りなし ☒ 歩掛りあり(☐ 標準 ・ ☐ 協会 ・ ☒ 自社)											
SRC路盤材 1m ³ あたり 材料費：固化材、カタマールY 等 施工費：労務費、機械経費、電気料等												
<table border="1"> <tr> <td>工 種</td> <td>金 額 (円)</td> </tr> <tr> <td>材 料 費</td> <td>2,770</td> </tr> <tr> <td>施 工 費</td> <td>3,230</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,000</td> </tr> </table>					工 種	金 額 (円)	材 料 費	2,770	施 工 費	3,230	合 計	6,000
工 種	金 額 (円)											
材 料 費	2,770											
施 工 費	3,230											
合 計	6,000											
施工方法 建設汚泥処理工程 ① 建設無機汚泥(セメント系)の受け入れ。 ② 高含水比の汚泥は脱水等の処理を行い、含水比を下げる。 ③ 汚泥をバックホウで造粒固化機に投入する。 ④ 造粒固化機に固化材、カタマールY等を投入し、混合・造粒後、排出する。 ⑤ 製品は強度増進のため4週間の養生後、路盤材として出荷する。												
残された課題と今後の開発計画 ①課題 ・ 知名度のアップ(現場への普及)。 ・ 上層路盤材として利用する。 ②計画 ・ 添加材料、配合比等の検討。												
施工実績	☒ あり ☐ なし											
新潟県の公共事業	2件											
他の公共機関	7件											
民間等	1件											
特許・実用新案				番 号								
特 許	☒ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☐ なし											
実用新案	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし											
他の機関による 評価・証明	証明機関	NETIS										
	制度名											
	番号	HR-060006-A										
	評価等年月日	2006年10月31日										
	証明等範囲	A										

概要説明書(その5)

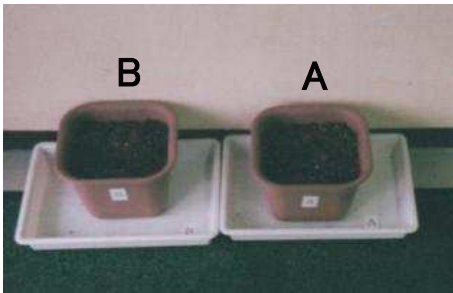
技術名称	SRC路盤材	※登録No.	18D1010
------	--------	--------	---------

概要図、写真等

建設汚泥処理工程

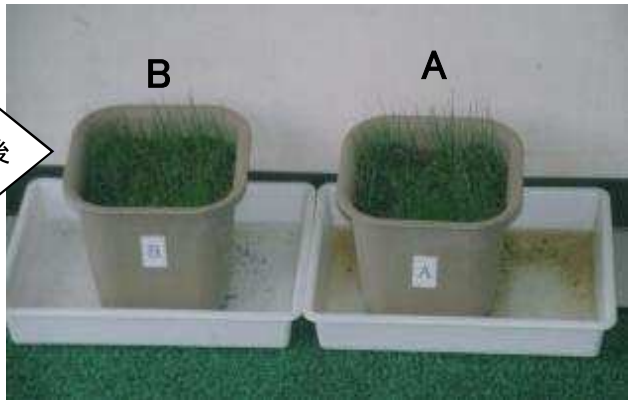


【植栽試験】



- ・ Aは砂利を敷石にしました。
- ・ BはSRC路盤材を敷石にしました。

1ヵ月後



A及びBはほとんど変わりありません。

概要説明書(その7)

[illegible]